

	南さつま市立大浦小学校 学校だより	令和5年 11月号	
<h1>おおうらの子</h1>		右のQRコードにスマホをかざすと、本校のホームページにつながります。	
校訓 かしこく やさしく たくましい 大浦の子 創立145周年（明治11年創立）			

持続可能な合同運動会

校長 上原 一 宏

オリンピックは、巨額の経済効果をもたらすことから、各国（都市）がしのぎを削って開催国（都市）に名乗りを挙げていました。しかし最近では、招致をするためや施設を建設するためなどに莫大な費用がかかり、昔ほどの費用対効果（コストパフォーマンス）が得られないのではないかとということ、巨額の資金をもたない国や小さな経済効果でもよいので自国を徐々に発展させたい国は尻込みをするようになってきているのも事実です。さらに平和の祭典と呼ばれている割には、汚職に関する事件が起きたり、戦争に加担したり、国家的にドーピングを隠蔽したりするなど、黒いうわさがついて回っています。そんなオリンピックについて、このままでは近い将来開催を希望する国（都市）がなくなってしまうのではないかと危惧する声もあります。

規模はまったく違いますが、地域との合同運動会はどうだったでしょうか。あれから半月ほど経過しますが、今もなお地域の方々から「合同運動会はよかったです。子供や孫はいないけど、久しぶりに学校の門をくぐって楽しい思いをいっぱいさせてもらえました。」とか「昔は選手集めに苦勞したので、もう二度とあんな思いをしたくないと思っていたけど、そこまでたいへんじゃなかったよ。」とか「大浦音頭を来場者全員で踊りたかった。」など、前向きな意見や感想をいただきまして、たいへんありがたく思うことでした。

大浦地区の運動会は、6年ほど前に中断したと聞いております。当時の自治会長さんは、どなたも口を揃えて「選手集めがたいへんだった。」とおっしゃっていました。その問題点が解決しない限り、合同運動会はできないと思ったそうです。学校側は、地域種目に子供も出場することになると、水分補給のタイミングを逃しかねないこと、休める時間が少なくなること、そして何より出場したときに景品をいただければ、何か学校教育としてはふさわしくないことなどがあり、地域種目は純粹に地域の方だけの種目にさせていただきました。

このようにして、両者の思いを伝え合い、お互いがお互いに思いを巡らすことで、今回のような合同運動会が開催できたのではないかと思います。そこには、誰かが利益を得たり、地位を獲得したりなどの利害がまったくありません。むしろ、子供たちのために何ができるかということ、地域や学校が一緒になって考えた結果であり、「地域で子供を育てる」「地域が子供を育てる」という教育の原点がここにあります。

ウェルビーイング (Well-Being) という言葉をお聞きになった方も多いかと思います。最近、企業等のCMで、SDGsよりもよく聞く言葉になってきています。これは、簡単にいうと良好（健康）な状態だそうで、ここでの健康とは、体の状態だけでなく心の状態をも表すといわれています。つまり、合同運動会でのウェルビーイングとは、子供も教職員も保護者も地域も幸せな状態になることです。例えば、来年の運動会には「大浦音頭」を取り入れて、全体で踊ってみてはどうだろうか？とか、昼食を挟んで午後まで実施したら、困る人はいないだろうか？とか、職員や保護者の水分補給時間を確保するために、中学生にも係をお願いできないだろうか？などなど、いろいろなことが考えられます。持続可能な合同運動会にするために、いろいろな方の御意見を伺いながら、前に進んでいこうと考えております。これからもどうぞよろしくお願ひします。

大成功！大浦小・地域合同運動会

10月の学校だよりでお伝えしていた「大浦小・地域合同運動会」が成功裏に終わりました。天候にも恵まれ、地域の方々も最後まで参加、応援してくださり本当にありがとうございました。来賓の方々もたくさん来てくださいました。また、保護者や地域の皆様の御協力により、片付けも予定していた時間より早く終わることができました。また、保健部を中心に作っていただいた緑門も、わざわざ帰りに見に行かれる方もいらっしゃいました。これをきっかけに、今まで以上に地域と学校の結びつきが深まればと思います。本当にありがとうございました。



卒業生から一輪車のプレゼント

昭和36年度生まれの本校卒業生が、コロナのため実施できなかった還暦同窓会をこの夏に開催しました。その折に、小学校の子供たちのために何かプレゼントしたいという話が持ち上がり、学校に相談がありました。

学校としては、一輪車が何台もありましたが、椅子の高さが調整できなかつたり、フレームが曲がっていたりなどで、少し不便を感じていたのをお願いしたところ、11月8日（水）に8台もの一輪車をプレゼントしていただきました。今は休み時間になると、友達と支え合いながら、朝も昼も笑顔で練習に取り組んでいます。一輪車のおかげで校庭では、今まで以上に優しい声が響いています。これからも大切にに使わせていただきます。



受賞紹介

第66回児童生徒作文コンクール

特選 宿里 優華

第74回県図画作品展

特選 上畠 葵士

渡瀬 優花

下畠 菜々音

12月行事

- 4日（月）立哨指導
- 5日（火）持久走大会，学級PTA
臨時PTA総会
- 7日（木）SSW来校
- 9日（土）土曜授業，もちつき
家庭教育学級（陶芸）
- 12日（火）人権の花閉講式
- 15日（金）中学校入学説明会
- 22日（金）終業式
- 28日（木）仕事納め